

# 第62期報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

スマート社会のその先へ  
真空技術で支える豊かな未来



株式会社 昭和真空

(証券コード：6384)

## 経営理念

1. 我々の存在が「世の中を豊かにする」ためにお役に立つこと。
2. 仕事に本気で取り組み「物を創造する喜びとプライド」を得ること。
3. 仕事を通して「人間的に成長する」こと。

## 決算ダイジェスト

売上高

10,934百万円

営業利益

1,231百万円

経常利益

1,234百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

856百万円

## 決算のポイント

- ① スマートフォンのカメラ複眼化や搭載部品数の増加などを背景に、水晶、光学の受注は好調維持も、電子、サービスは弱含みで推移
- ② 受注残等を背景に稼働率は良好に推移、生産効率向上、案件ごとのコスト削減等により利益を確保
- ③ デバイスメーカーの次世代デバイスへの取り組み姿勢は継続、次世代製品向け依頼実験、装置開発に引き続き注力
- ④ 相模原工場内に新開発棟建設、2020年度より本稼働
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響で一部案件の納期スケジュールが遅延

## 次期の見通し

売上高

11,000百万円

営業利益

1,095百万円

経常利益

1,100百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

772百万円

## 今後の取り組み

- ① 戦略装置の開発 (水晶、光学、電子 各分野)
- ② 技術力・開発力の強化 (新開発棟の活用)
- ③ 顧客との共同開発の実施と成果の実現
- ④ 品質管理体制のさらなる強化
- ⑤ 海外子会社との連携強化 (生産能力の強化)
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症への対応  
地域社会、取引先、従業員の安全確保、生産体制の整備等

## 開発力を強化し、 真空装置の技術革新に取り組み 不透明な状況の中からチャンスを見出し、 着実に成長してまいります

代表取締役執行役員社長

小俣邦正



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済及び国内経済は、総じて緩やかな回復基調で推移してきましたが、2020年に入り新型コロナウイルス感染症の影響により足元で急激に悪化し、先行き不透明感が強まりました。

当社グループを取り巻く事業環境を見ると、厳しい外部環境下ではあるものの、第5世代移動通信システム普及の本格化に伴うスマートフォンの高機能化・IoT機器の広がりや自動車の電装化比率の高まりなどにより、電子部品等の需要が中長期的に増加していく流れは変わらず、

電子部品メーカーにおける次世代製品の開発は続きます。当社グループは、お客様のお役に立つために開発棟を増設し問合せやサンプル成膜に迅速に対応する体制を整えました。開発力を強化し、お客様の次世代製品開発を支援する取り組みを通じて、真空装置の技術革新や新分野の開拓につなげ、着実に成長してまいります。

## TOPICS

### プラスチック基板への金属膜・保護膜を全自動で成膜

プラスチックは、金属に比べて軽量かつ形状の自由度が高いため様々な分野に利用されています。その際、金属特有の美しい外観を得るため表面を金属でコーティングして加飾するケースがあります。この時に問題となるのが、プラスチックの表面状態です。プラスチックは大気中に放置していると、埃等の付着や水分の吸着により表面状態が変化します。保管環境や経過時間等が、金属膜の密着性や質に影響を与え、歩留まり低下の一因となります。

そこで当社は、プラスチック部品成形後の保管期間を可能な限り短くするために、射出成形機と連動可能な成膜装置を開発しました。これによりユーザーは、成形後の部品保管や輸送といった工程が不要となり、プラスチック部品の成形⇒金属成膜⇒保護成膜までが全自動で行えるようになります。また、これまでアンダーコートの上に成膜することで密着性や品質を高めていましたが、成形直

後に成膜するため、埃等が付着しないことによる歩留まり向上が期待されるとともに、アンダーコート無しで密着性の良い成膜を実現しました。

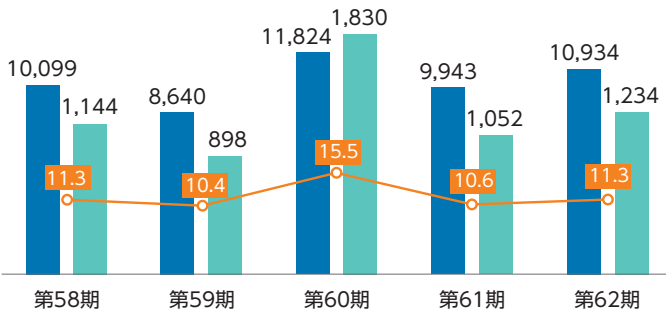
今後もお客様にメリットを提供できる装置の開発に努めてまいります。



射出成形機連動型高速スパッタ・重合装置 (SPP-202-H)

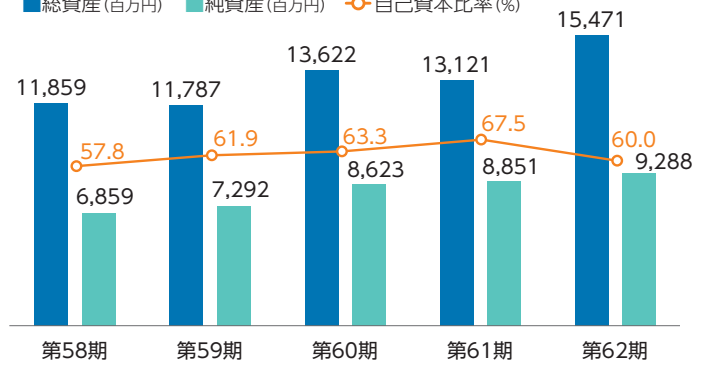
売上高・経常利益・売上高経常利益率

■売上高(百万円) ■経常利益(百万円) ○売上高経常利益率(%)

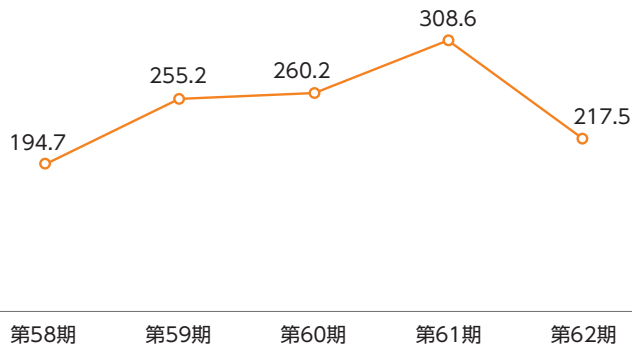


総資産・純資産・自己資本比率

■総資産(百万円) ■純資産(百万円) ○自己資本比率(%)

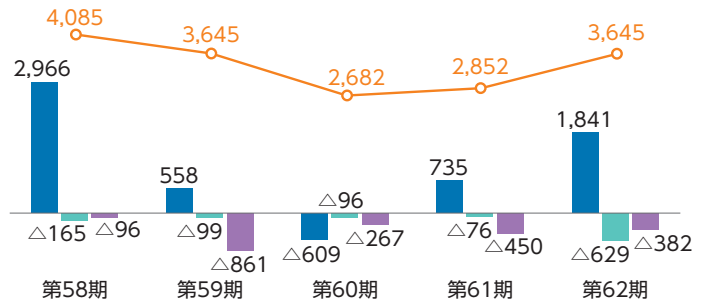


流動比率(%)



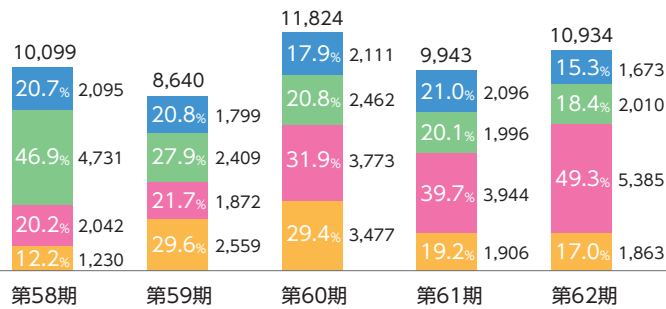
キャッシュ・フロー(百万円)

■営業活動によるキャッシュ・フロー ■投資活動によるキャッシュ・フロー  
■財務活動によるキャッシュ・フロー ○現金及び現金同等物の期末残高



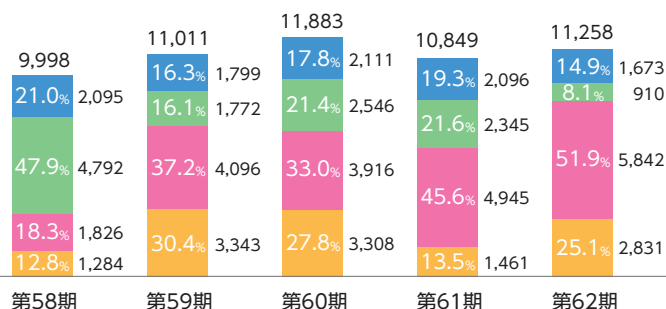
品目別売上高構成比(百万円)

■水晶デバイス装置 ■光学装置  
■電子部品装置・その他装置 ■サービス事業



品目別受注高構成比(百万円)

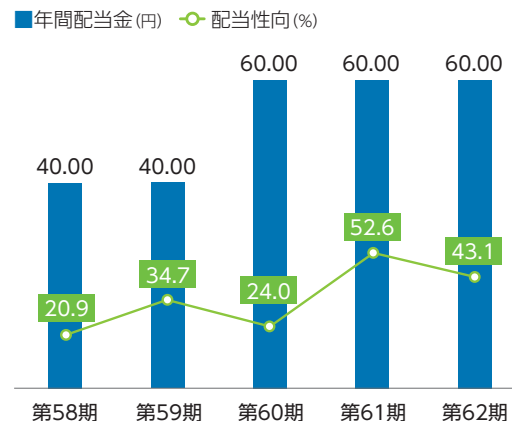
■水晶デバイス装置 ■光学装置  
■電子部品装置・その他装置 ■サービス事業



利益分配に関する基本方針

当社は、業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保及び財務体質の健全性の維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。内部留保につきましては、経営環境の変化に対応すべく、コスト競争力を高め、生産設備ならびに技術開発体制の強化に備えるとともに、今後の事業展開に向け、有効に活用していく所存です。

2020年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり60円の配当を実施いたしました。





本社・相模原工場内に建設を進めていた新開発棟が完成し、2020年4月から稼働を開始しました。技術開発力の強化を担う本施設は、どのような機能を発揮し、活用されていくのか。小俣社長と技術部門担当の高橋取締役に語っていただきました。

## テーマ：技術開発力の強化と昭和真空の未来展望

代表取締役執行役員社長 小俣 邦正 × 取締役執行役員 技術本部長・品質保証部長 高橋 理

### 新開発棟がついに稼働、その背景と狙い

**高橋** 総額6億円を投じた新開発棟の設置は、ひとこと言えば、当社事業の未来を見据え、次世代の技術開発ニーズに対応していくための成長投資ですね。

**小俣** 技術革新が新しい価値を生み出す流れの中で、当社の主要顧客である電子部品メーカーは、次世代製品の開発にしのぎを削っています。当社が成長を遂げていくためには、そうした顧客ニーズを捉え、技術力・モノづくり力を提供し、必要とされるパートナーとしてのポジションを確保することが重要になってきました。

**高橋** 当社の商談は多くの場合、「依頼実験」と呼ばれる技術的な問合せやサンプル成膜の実施からスタートしますが、そこで持ち込まれるのは、顧客が注力する次世

代製品の開発案件や新たな製造手法ですので、適時適切な対応が求められますし、当社と顧客の共同開発になる案件も多数あります。

**小俣** 新開発棟を建設した狙いは、生産現場に点在していた開発設備を集約し、依頼実験や開発業務の効率化を図りつつ、生産能力を高めることにあります。専門施設として情報管理を一層厳格化し、顧客の安心と信頼につなげることも大きな目的です。

### 新開発棟設置の機能と果たすべき役割

**高橋** 既存開発棟の隣地に新棟を建設したことで、開発エリアは従来の1.5倍に拡充されました。依頼実験や共同研究の増加に対応すべく、主要スペースをクリーンルーム化し、光学用および金属膜用の蒸着装置、各種スパッタリング装置、イオンソース実験用や真空実験用の装置など多くの設備を導入しています。

**小俣** 開発体制の強化を通じて、成膜装置の高精度化ニーズに本気で応えていく姿勢を顧客に示し、当社の技術力に対する評価を高めながら、受注拡大につなげていく考えです。同時に当社の技術者に対しても、開発環境の充実によってモチベーションを高め、好成果を生み出すことを期待しています。

**高橋** 新開発棟では水晶、光学、電子向けの次期主力

装置のほか、スマート工場化や予知メンテナンスに対応した装置の開発にも取り組んでいきます。顧客ニーズに応えることで、当社の技術力が磨かれ、新たな知見やノウハウが積み上がり、それが装置開発に反映されるというサイクルを生み続けていこう。

**小俣** そうです。さらに技術の応用範囲が既存分野から新規分野へ拡がることで、当社の総合力がより強化され、業績の向上と安定化をもたらしていくと思います。

### 新開発棟において活躍が期待される人材

**高橋** 前述の通り、開発エリアが従来の1.5倍に拡充されたことに伴い、当社は今後技術者を毎年一定数増員し、開発部門の組織的整備と強化を図ります。

**小俣** 新たな人材の獲得・育成もまた、未来を見据えた重要な成長投資です。

**高橋** 真空技術のオタクのような人、成膜技術に精通している人、真空中でロボットを動かす技術に詳しい人などを集め、技術をすり合わせることで、よりユーザーが使いやすい装置開発を実現していく方針です。

**小俣** 開発部門では、顧客に喜ばれる技術を創出することに信念を持ち、どんな難問にも必ず答えがあると信じて地道に努力できる人材が活躍するでしょう。当社には、そうした人材を輩出していく土壌があると考えます。

### 今後の技術開発が目指していく方向性

**小俣** 当社は、顧客からの依頼実験を通じて、世の中が求める将来のマーケットニーズを知ることができます。2020年度の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が懸念されますが、5G通信やスマートフォンカメラの複眼化や高機能化に対応した生産装置の需要が高まることで、業績に寄与できると見込んでいます。

これも長年にわたり顧客との信頼関係の構築に努め、共同で成膜レシピと生産装置の開発に取り組んできたことが、実を結んだ結果と言えるでしょう。

**高橋** 一方では、新型コロナウイルス感染症への対応において、医療現場や教育現場への技術的支援が求められ、テレワークなど働き方の多様化を後押しする技術・サービスの普及にもつながっています。メーカー各社は今、そのための製品づくりに尽力しており、当社は顧客のパートナーとして新開発体制で支えています。

**小俣** 電子部品・光学部品の分野では、今後も新しい市場向けに新しい製品が次々と生まれていくでしょう。当社では、やがて来る未来を展望しながら、営業部門と技術・開発部門が地道に「種蒔き」を行い、将来の成果となる「芽」をたくさん育てていきます。新開発棟は、そうしたチャレンジが行われる大きな舞台なのです。



▲ 新開発棟の外観



▶ 新開発棟の内部の様子 ▶



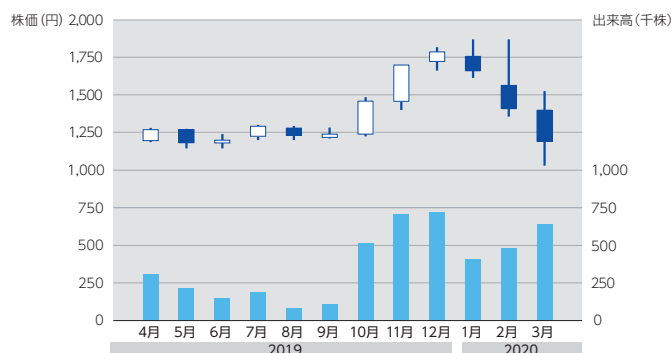
## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 13,800,000株  
 発行済株式の総数…………… 6,499,000株  
 株主数…………… 4,268名

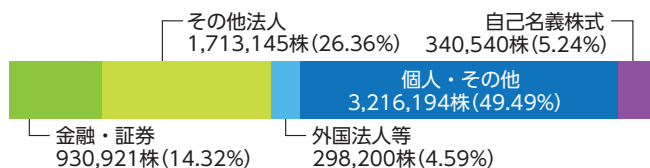
## 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小俣邦正	602,100	9.78
有限会社小俣興産	341,440	5.54
株式会社昭和真空	340,540	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	311,000	5.05
昭和真空従業員持株会	181,152	2.94
小俣佳子	160,000	2.59
株式会社三菱UFJ銀行	145,000	2.35
日本生命保険相互会社	115,200	1.87
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55

## 株価及び売買高の推移 (月次)



## 所有者別株式状況 (株式数)



## 株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同 送 付 先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同 連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 基準日 3月31日  
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告いたします。  
 配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払を行う時は9月30日  
 公告方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。  
 URL <https://www.showashinku.co.jp/>

## 会社概要

商 号 株式会社昭和真空  
 設 立 1958年 (昭和33年)  
 資 本 金 2,177,105,200円  
 従 業 員 数 192名  
 営 業 種 目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの総合的な真空関連装置並びに真空機器等  
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンレーティング装置、ALD装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶金 (溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モニター (多色式、単色式)、IAD 冷陰極イオンソース、液晶注入装置、その他  
 取引金融機関 三菱UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、きらぼし銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

## 事業所

●本社・相模原工場  
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10  
 TEL. 042-764-0321 / FAX. 042-764-0329

## 役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役 執行役員社長	小俣 邦正	社外取締役 末代 政輔
取締役執行役員常務	市川 正	社外取締役 山本 雅子
取締役執行役員	高橋 理	常勤監査役 村木由之亮
取締役執行役員	久島 博美	社外監査役 佐久間 豊
取締役執行役員	田中 彰一	社外監査役 清水 雅人

## グループ会社及び関係会社

- グループ会社
  - 昭和真空機械 (上海) 有限公司
    - 所在 / 中国上海市
    - 主な事業内容 / 当社装置の生産
  - 昭和真空機械貿易 (上海) 有限公司
    - 所在 / 中国上海市
    - 主な事業内容 / 当社装置・部品の販売、サービス・メンテナンス
  - 株式会社エフ・イー・シー
    - 所在 / 埼玉県狭山市
    - 主な事業内容 / マグトラン (歯のない歯車) の製造・販売
- 関係会社
  - Sansei-Showa Co., Ltd. USA
    - 所在 / 米国オハイオ州



昭和真空機械 (上海) 有限公司  
 昭和真空機械貿易 (上海) 有限公司



株式会社エフ・イー・シー

## IRカレンダー 第63期 (2020年4月~2021年3月)

5月	第62期 決算発表	11月	第63期 第2四半期決算発表
6月	第62回 定時株主総会 有価証券報告書提出	2月	第63期 第3四半期決算発表
8月	第63期 第1四半期決算発表	3月	31日 第63期 決算日

●トップページ  
<https://www.showashinku.co.jp/>  
 ホームページでさまざまな情報をご覧いただけます。  
 ●「株主・投資家の皆様へ」トップページ  
<https://www.showashinku.co.jp/ir/>  
 株主の皆様には有益なIR情報はこちらをご覧ください。

